



Arai News

アメリカナショナルチャンピオンは80年もAraiライダーが取った。79年はAraiのステーブ エクランドだったが、80年は代わってやはりAraiのランディーゴスがチャンピオンになった。これで2年つづけてAraiがNo.1を取った事になる。アメリカのNo.1というのは大変なもので、ダートのマイル、1/2マイル、シヨートトラック、そしてTT、それにロードレース、これら全てのレースの総合得点で定められるものなので、あれならいいがこれはいやというようなハンパな根性じゃ決してNo.1にはなれない。そのNo.1を2年つづけて取ったのだからAraiには本当にいいライダーがそろっているとつくづく感心する。ナショナルチャンピオンの他にも、全米ロードレースチャンピオンはAraiのリチャード シュラクター、そしてスーパーバイクチャンピオンはおな

もだまってどこか改良しといてやるつもり。もちろん市販のRX-7も同時に改良しますよ。



ランディーゴス選手

80年アメリカNo.1は、**Arai**ライダー
またまた

じみのウェスクリーが取った。もっともウェスの方は他のライダーからのクレームでチャンピオンはまだ確定してないが、まずまちがいない。
80年もすばらしい成績で終わった。81年は彼らにもますますいい走りをしてもらうためヘルメットを何か改良してあげようかと云ったけど、"c/c RX-7はいまのままで最高。何も変えないでくれ!"と云われてうれしいような困った話。て

1981年度

Araiレーシング留学制度

80年度Araiレーシング留学は80年4月号でもお知らせしたように石川岩夫選手が選ばれた。そして石川選手は8月10日英国のシルバーストーンで行なわれた世界グランプリの350クラスに出場し見事完走した。このGP出場は彼にとってよい経験となった事だろう。世界にとび出していきつづけになってくれればと願っている。

81年度のAraiレーシング留学は3月のデイトナにまどをしぼった。デイトナは世界で最も有名なイベントの一つ、しかもとてもつもない高連コース。

ここで世界的ライダーと走るのはいい勉強になるだろう。対象となるのはエキスパート歴一年以上で海外レース未経験のAraiライダー。応募者の内から報道関係者、MFJ、GPライダー等よりなる選考委員会により一名が選ばれる。この記事が読者の目にふれる頃にはそれがデイトナに行く事になるか決まると思うが、いずれにせよまた一人新しいライダーが世界に出ていくのはうれしい事だ。



Arai 通信販売ニュース

M-X用カラーネジ発売

M-Xマウスガードを同色ネジで止めると、一段とカッコよくなる。カラーネジは3色(赤、黄、青)

価格——¥100 送料——¥100

サーキットキャップ	価格	¥2,000	送料	¥140
ステッカー 11×5cm	価格	¥100	送料	¥50
	21×9cm	価格	¥300	送料
スコッチ 40cm	価格	¥300	送料	¥50
	価格	¥1,200	送料	¥200